

製品名: CERKL ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08684**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	63kDa

抗原情報

遺伝子名	CERKL
別名	CERKL; Ceramide kinase-like protein
遺伝子 ID	375298.0
SwissProt ID	Q49MI3
免疫原	抗血清はヒト CERKL 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 341-390

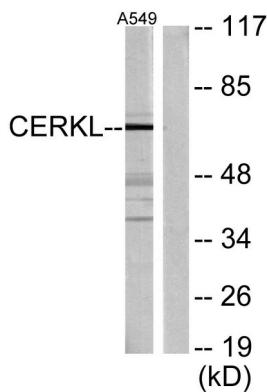
背景

この遺伝子は当初、常染色体劣性遺伝性の網膜色素変性症（arRP）に関連する遺伝子座（RP26）として同定されました。この遺伝子はセラミドキナーゼ様ドメインを持つタンパク質をコードしていますが、セラミドをリン酸化せず、その標的基質は現在不明です。

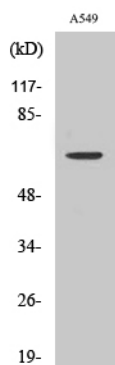
このタンパク質は、光受容細胞のアポトーシスの負の調節因子である可能性があります。この遺伝子の変異は、常染色体劣性錐体桿体ジストロフィー (arCRD) を特徴とする網膜色素変性症の一種を引き起こします。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームと非コード転写産物をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2010年5月]、発達段階: 胎児の肺、腎臓、脳で発現します。、疾患: CERKL の欠陥が網膜色素変性症 26 型 (RP26) の原因です[MIM:608380]。RP は網膜光受容細胞の変性を引き起こします。患者は典型的には夜間視力低下と中周辺視野の喪失を経験します。病状が進行するにつれて、遠周辺視野が失われ、最終的には中心視力も失われます。RP26 の遺伝形式は常染色体劣性です。、機能: セラミドキナーゼ活性は検出されません。、PTM: セリン残基がリン酸化されています。、配列注意: CDS の選択が誤っています。、類似性: DAGKc ドメインを 1 つ含みます。、細胞内局在: 核小体に多く存在します。核と細胞質の間を移動することがあります。アイソフォーム 5 は核小体に多く存在しません。、組織特異性: 網膜、腎臓、肺、精巣、気管、膵臓で中等度の発現が見られます。脳、胎盤、肝臓では弱い発現が見られます。、

研究分野

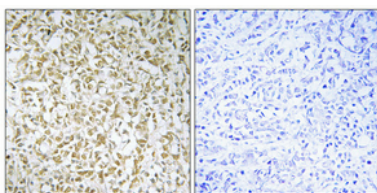
画像データ



CERKL 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



CERKL ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。

